

第3回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和5年度 第3回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和5年10月27日（金）14：00～15：46
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎4階 防災対策室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6. 出席者

（1）委員

美谷薫委員、吉岡滋樹委員、北川裕之委員、大野繁治委員、上野美智子委員、大森成順委員、永富靖人委員、野見山桂子委員、松田クニ子委員

*欠席委員 三船國弘委員、村上曙生委員、大里理子委員

（2）執行機関

財政課長 吉門幸一、財政課長補佐 田中ひふみ、行政改革推進係 太田野与香
アドバイザー 塩塚公認会計士事務所 塩塚正康

7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8. 議題及び審議の内容

【議題】

- （1）前回審議会の振り返り
- （2）外部評価の実施について（審議）
- （3）第4次行政改革令和4年度実施状況について（審議）
- （4）その他

【審議の内容】

（1）前回審議会の振り返り

前回審議会における委員からの質問事項について、説明を行った。（事務局）

（2）外部評価の実施について

外部評価の実施について、資料に沿って説明を行った。（事務局）

説明を受け、審議を行い、次のような質問及び意見が出た。（委員）

（行政区運営事業について）

・事業名について、行政区を市が運営していくわけではないので、「行政区運営支援事業」ではないのか。

→ご意見のとおりであるため、来年度事業において変更を検討する。

・この事業は、行政区の運営支援を行う事業であるが、運営支援についての内容が記載されていない。

・「事業の成果」欄に、他の事業のこと（成果）が記載されており、適切ではない。

・祭り等の行事があるところとないところなど、行政区によって温度差がある。

・行政区への加入率が低下している。促進するのは難しいと考えるが、行政が踏み込んで真剣に考えて欲しい。

- ・地域差があるため（地域によってバラつきがあるため）、行政がリーダーシップをとってほしい。
- ・あくまでも行政区が主体的に活動をしていかなければならないため、各行政区に適合するような他の事例を行政から提案し、各行政区が自らどう運営していくかを検討できるようにするとよいのではないか。
- ・行政区運営交付金の活用内容を、行政がきちんとチェックすべきである。
- ・うまくいっている行政区とそうではない行政区で、内容を区別して支援していくとよいのではないか。
- ・一次評価が適切に行われていない点について、二次評価で全く指摘されていないことに疑問を感じる。

（敬老事業について）

- ・敬老祝品についてのアンケートは、アンケートのとり方次第では、敬老祝品をやめるといふことにはならないのではないか。例えば、喜ばれるお祝いとはどういったものかという視点で、アンケートをとるべきではないか。
- ・101歳以上の敬老祝品は、毎年カタログギフトであり、本人が選んでいないことが多いと考えられ、本人に還元されていないのではないか。
- ・敬老祝品について、例えば、市内の事業者によるクリーニング券や配達チケットなどにすれば、地域にも還元できると考える。内容について、もっと工夫したほうがよいのではないか。

（関係人口創出・拡大事業について）

- ・空き家バンク事業について記載されているが、空き家バンクに登録されている物件は、大抵空き家になってしばらく経過し、不動産業者では取り扱わないような物件と考える。空き家になってすぐに対策すれば、まだ物件が新しいうちに登録することになり、もっと活用されるのではないか。固定資産などの情報を持っているため、連携して事業を実施すれば、老朽空家等も少なくなるのではないか。
- ・「関係人口創出・拡大事業」であるのに、婚活や空き家バンク、SDGs イベントなど内容が多岐にわたっており、目的がはっきりしないため、事業としての成果もどうなのか分かりづらい。
- ・関係人口の創出・拡大が目的の事業なのか、移住定住が目的の事業なのか分からない。

（老朽危険家屋等対策事業について）

- ・「関係人口創出・拡大事業」でも意見が出たように、包括的に連携して事業を実施すべきである。
- ・老朽空家が増えると、草などが繁茂したりして火災の危険性も増えるので、しっかり対策して欲しい。

（小学校管理費事業・中学校管理費事業について）

- ・「学力低位層に視点を当てた授業改善」と記載されているが、学力を上げようとする、学力上位者の引き上げを行って平均値を上げるということも考えられる。
- ・教育は、移住定住を考えている人たちにも大きく影響する。現に、嘉麻市に住んでいて

も近隣市へ通学させている人がいるということを知る。学力を伸ばすことを考えなければならぬが、低位層だけに力を入れているのでは、子どもの教育のためにと他の市町村へ転出する人も増えるのではないかと。

- ・学力を指標にすると、インプットとアウトプットが難しい。
- ・学力検査の事と特別支援教育推進の実施に関する事だけが記載されているが、決算額からしてそれだけではないはずである。どんな内容の支出があるのか。
→スクールバスの委託料やタブレットのSIM通信料、特別支援学級の先生たちの報酬などが主なものであり、学校の庶務的な内容のものがこの事業に入っている。

(3) 第4次行政改革令和4年度実施状況について

第4次行政改革実施計画の令和4年度実施状況について、前回審議会までに出された意見等を振り返り、委員各自でその他の質問や意見等をまとめ、次回の審議会にて審議することとした。

(4) その他

特になし。

9. 配布資料

- ・令和5年度第3回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・令和4年度事務事業評価に係る二次評価結果※事前送付